

# としょかん つうしん

通巻61号

(平成23年8月)

編集・発行 印西市立大森図書館

(図書館ホームページ)

・パソコン から・・・

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/>

・携帯電話 から・・・

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/i/>

これからの  
催し

ブックリサイクル  
(大森図書館)

大森図書館で、保存期限を過ぎた雑誌・図書等のリサイクル(無料配布)を行います。みなさまのお越しをお待ちしています。

○日時：9月3日(土) 午前10時から午後3時まで

○場所：文化ホール 1階 ホワイエ

○お持ち帰りの冊数制限はございません。

本を入れる袋などは各自でお持ちください。

なくなり次第終了となります。



大森ブックリサイクル(平成21年)

図書館利用者  
懇談会  
(小林図書館)

今回は小林図書館で行います。これからの図書館について一緒に話しませんか?ぜひ、お気軽にご参加ください。

○日時：10月15日(土) 午前10時半から正午まで

○会場：小林公民館

○申込不要 ○問合せ：小林図書館 (Tel:97-0005)

## おはなし会においでよ!

図書館では右のとおり、各図書館で定期的におはなし会を行っています。

大きな絵本や紙芝居、季節や行事にぴったりの楽しいおはなしを用意してお待ちしております。ぜひお気軽にお越しください。

※都合により日程を変更することがありますので、詳しい日程については、各図書館にお問い合わせ下さい。

大森図書館 (おはなし室)	第2・4日曜日 午前11時～
小林図書館 (遊戯室)	第4土曜日 午後3時～
そうふけ図書館 (おはなしのへや)	第1・3土曜日 午後3時～ 第2・4土曜日 午前11時～
小倉台図書館 (おはなし室)	毎週木曜日 午後3時半～
本埜図書館 (おはなしーナ)	第3土曜日 午前10時半～
印旛図書館 (児童館)	月1回開催。日程については印旛図書館 (Tel:80-3850) まで。

前回、表で示した冊子資料の複製（コピー）できる範囲について、詳しく説明します。

### 《複製できる範囲》

#### (1)「図書」-右表のとおり。

##### 1. 「論文・短編集」の複写範囲について

1つの論文や短編が1つの著作物であるため、複写範囲は1つの論文や短編の半分までです。

##### 2. 「写真集・絵画集」の複写範囲について

論文等と同じく、1つの写真や絵画が1つの著作物となるため、複写範囲は1つの写真や絵画の半分までです。

##### 3. 1つの作品が2冊以上に分かれる図書の複写範囲について

図書2冊以上に分けるよう編集されたということで、図書1冊ごとに1つの「編集著作物」として扱われるため、複写範囲は1冊の半分までです。

図	論文・短編集	1つの論文や短編の半分まで。
	写真集・絵画集	1つの写真や絵画の半分まで。（1ページ以下のものは複写不可。）
書	それ以外	基本的に1巻の半分まで。上下巻等に1つの作品が2冊以上に分かれるものも各巻の半分まで。

#### (2)「雑誌」-右表のとおり

##### 1. 雑誌の最新号の複写範囲について

1つの記事が1つの著作物となるため、各記事の半分までです。

##### 2. バックナンバーの複写範囲について

バックナンバーについては各記事全部の複写が可能です。ただし、雑誌1冊が1つの「編集著作物」のため1冊全ては複写できません。（つづく）

雑誌	最新号	各記事の半分まで。
	バックナンバー	各記事の全部。 但し、1冊の半分まで。

## 図書館 人気の本

(平成23年8月24日現在)

1位の「謎解きはディナーのあとで」は今年の本屋大賞を受賞した本です。

①	謎解きはディナーのあとで	東川 篤哉／著
②	麒麟の翼	東野 圭吾／著
③	真夏の方程式	東野 圭吾／著
④	県庁おもてなし課	有川 浩／著
⑤	下町ロケット	池井戸 潤／著
⑥	人生がときめく片づけの魔法	近藤 麻里恵／著
⑦	もし高校野球のマネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎 夏海／著
⑧	あの頃の誰か	東野 圭吾／著
⑨	KAGEROU	斎藤 智裕／著
⑩	放課後はミステリーとともに	東川 篤哉／著

※上記の本は非常に人気があり、リクエストをしていただいても長期にお待ちいただく場合があります。ご了承ください。

※上記の本で不要になったものがありましたら、ぜひ図書館にご寄贈ください。

# 楽しかったよ！～行事報告～

## 夏のおはなし会

### 7/16 本埜図書館



パネルシアター、大型紙芝居、クイズやバルーンアートなど内容が盛りだくさんでした。その上初めて、お父さんたちによる読み聞かせもあるなど、いつもとは違う雰囲気のおはなし会のためか、集まった子どもたちは楽しんで参加してくれました。最後は、風船の割れる音にドキドキしながらも、作ったバルーンアートを手にとっても嬉しそうな様子でした。

### 8/4 大森図書館



素話グループ「ささのは」・大貫秀雄氏の協力を得て、動物の足型クイズ・切り紙の実演・大型絵本の読み聞かせ・素話（2話）を行いました。夏のおはなし会は今年で3回目の実施となります。大森図書館のイベントは全体的に幼児の参加が多い傾向がありますが、どの子ども最後まで聞くことができ、楽しんでくれました。今回は、84人（子ども44人・大人40人）の参加がありました。

## 科学遊び

### 7/21 小倉台図書館



筒に開いた小さな穴をのぞくと美しい模様が広がり、つい見入ってしまう万華鏡。一見仕組みが複雑そうですが、子どもたちはそんな万華鏡が作れるとあって、熱心に取り組んでいました。特に模様のもととなるビーズやスパンコールを筒に入れる作業はとても楽しそうでした。このように図書館には、他にもやってみると意外と簡単で楽しい科学実験や工作の本がたくさんあります。ご家庭でもお子さんと楽しく科学を体験してはいかがでしょうか？

## 図書館探検隊

### 7/26 大森図書館



午前と午後で対象学年を分けて実施しました。低学年の募集は大森図書館だけだったこともあり、キャンセル待ちが出るほどの人気ぶりでした。今年は、本を探す時間を設けましたが、どの子どもも思っていた以上に「本を知っていて」「探せる」様子なので正直びっくりしました。恒例の行事ですが、内容に少しずつ工夫を増やし「何度参加してもおもしろい」というような企画にできたらと思います。

### 8/4 小倉台図書館



小学校4～6年生の子ども12人が参加して半日図書館員を体験しました。カウンターでの「貸出」「返却」の作業や、返却された本を棚に並べる作業、本に透明なカバーをかけて装備をする作業、とさまざまな作業を体験しました。参加した子どもたちからは、「大変だったけど楽しかった。」「また、来年も参加したい。」という感想があり、図書館の仕事の楽しさと大変さを感じてくれたようです。



## 楽しかったよ！ ～行事報告～



## 「印旛沼って、どんな沼？」(8月12日 印旛図書館)

小学校4年生から中学生を対象に講座を行いました。講師にNPO法人水環境研究所の今井正臣さんを迎え、昔と今の印旛沼の様子を水質や水草の種類を中心に学びました。水質調査の実験では、水道水と現在の沼の水を比べ、どれだけ沼の水が汚れているかがわかりました。水草は持ってきていただいたものもあり、子どもたちは初めて見るものが多かったようで、とても興味を持ってくれました。身近な印旛沼ですが、知らないことが多く、子どもたちに沼について知ってもらいたい機会になったと思います。

## この本、みつけました。

豪雨など大きな災害があり、地震が続いています。今回は一見そう見えませんが、災害に立ち向かう人が主人公の本や、これからの災害への対処を書いた本を紹介します。



### グスコープドリの伝記 (宮沢賢治絵童話集)

宮沢賢治／著 くもん出版 (児童Fミ)

主人公のグスコープドリの父と母は飢饉の年に森でいなくなり、妹のネリはさらわれます。主人公は様々な仕事をする度に、災害により仕事が続けられなくなりながらも、勉強していきます。そして、自然現象を操作する大博士に紹介されて火山局に入り、自然災害に翻弄される皆のために力を尽くそうとするのでした。厳しい自然にさらされてきた人間の歴史、「悲しみをなくしたい」という強い思い、科学技術の発達の目的など、人間の悲しみと理想とが詰まったお話です。

## 科学的とはどういう意味か (幻冬舎新書)

森博嗣／著 幻冬舎 (一般401モ)

「すべてがFになる」など数々のベストセラー小説を出し、科学者でもある著者の「科学」に関する論説です。「科学」を避けることは損である、科学的な考えを身につけることが自分の身を守る力となる、との論旨は改めて新鮮に感じます。現在の様々な問題を正しくとらえ、解決の手がかりを与える「科学」とのつきあい方をこの本は提案しています。



## 図書館についてのお問い合わせは、下記のもよみの図書館までどうぞ。

- |           |             |          |             |
|-----------|-------------|----------|-------------|
| ★ 大森図書館   | ・・・ 42-8686 | ★ 小林図書館  | ・・・ 97-0005 |
| ★ そうふけ図書館 | ・・・ 45-2566 | ★ 小倉台図書館 | ・・・ 47-5511 |
| ★ 印旛図書館   | ・・・ 80-3850 | ★ 本埜図書館  | ・・・ 97-3210 |

## 編集後記

「やさしい著作権講座」も時期は飛び飛びですが、連載回数が10回を超えました。著作権について、多少はご理解くださいましたでしょうか。図書館に関する部分でわからないことがありましたら、お気軽におたずねください。次回刊行は10月下旬(読書週間前)の予定です。(1)